［抗議声明］

靖国神社への高市首相の真榊・玉串料奉納と閣僚の参拝に強く抗議する

内閣総理大臣 高市 早苗 殿
成長戦略担当大臣 城内 実 殿
国土交通大臣 井林 辰憲 殿

10 月 17 日に高市 早苗首相は靖国神社の秋季例大祭に「内閣総理大臣 高市 早苗」名で真榊を、19 日には私費で玉串料を奉納し、城内 実成長戦略担当相が、19 日には井林 辰憲国土交通相が参拝したと報じられた。

靖国神社は日本軍国主義による中国をはじめとしたアジア諸国への侵略戦争に国民を動員した国家神道の中心的な神社であり、侵略戦争の責任者である A 級戦犯を合祀し、今もなお侵略戦争を美化・宣伝する施設となっている。首相の真榊・玉串料奉納と閣僚の参拝は政教分離を定めた憲法に違反する宗教行為であり、繰り返される首相の供物の奉納は、日本が歴史の真実に背を向けているとの国際的な疑念を招き、隣国である中国・韓国はじめ、アジア各国との信頼関係を損ねる大きな原因となっている。

日本中国友好協会は、高市首相よる同神社への真榊・玉串料奉納に強く抗議する。また、高市首相をはじめとした閣僚が、侵略戦争の加害責任と反省を明らかにするとともに、日中平和友好条約で日中両政府が約束した「すべての紛争を平和的手段により解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する」との宣言を日本政府が遵守し、軍事的な対抗ではなく、話し合いによる平和外交を推進してアジアと世界の平和と安定のために力を注ぐことを強く求めるものである。

2026 年 10 月 19 日
日本中国友好協会